

2021

Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2021年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2021年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。本誌では、2021年3月期の業績ならびに各種取り組みについてご紹介しておりますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

私ども地域金融機関を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症がもたらした急速な景気減速から持ち直しの動きをみせながらも、各地で繰り返す感染再拡大の動きや、観光業をはじめとする一部業界への深刻な影響などを背景に、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

こうした環境のなか、当社グループは、2019年4月よりスタートした中期経営計画『ALL for the Region』に掲げる3つの基本方針～「地域社会発展への貢献」「未来への進化・変革」「グループ総合力の発揮」～のもと、地域金融グループとしての原点に立ち返り、コロナ禍に直面するお客さまの課題解決を通じて、地域の持続的成長への貢献を実現すべく、役職員一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
株式のご案内	14

中期経営計画の概要

『ALL for the Region』

2019年4月～2022年3月

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



3つの基本方針

地域社会
発展への
貢献

共に課題に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューション提供に努める。

未来への
進化・変革

技術革新やニーズの変化を捉えた金融サービスを提供しお客さまの期待に応える。

グループ
総合力の
発揮

グループ連携を強化するとともにグループ最適の推進・管理体制を構築する。

共通価値の創造

重点指標

	2019年度 実績	2020年度 実績
本業利益 (2行合算)*	169億円	196億円
当期純利益 (連結)	202億円	213億円
自己資本比率 (連結)	8.94%	9.45%
OHR (2行合算)	69.27%	68.19%

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2021年 3月期	前 期 比	2020年 3月期
経常収益	1,759	△ 64	1,824
経常利益	322	5	316
親会社株主に帰属する当期純利益	213	10	202
自己資本比率	9.45%	0.51%	8.94%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2行合算		
	2021年 3月期	前 期 比	2020年 3月期
経常収益	1,579	△ 55	1,635
コア業務粗利益	1,207	△ 24	1,232
経費 (臨時処理分を除く)	823	△ 30	853
コア業務純益	384	5	378
除く投信解約損益	376	30	345
与信費用	130	10	120
経常利益	320	5	314
当期純利益	224	16	208

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2021年 3月期	前 期 比	2020年 3月期
経常収益	864	△ 21	885
コア業務粗利益	667	△ 1	668
経費 (臨時処理分を除く)	439	△ 18	457
コア業務純益	228	16	211
除く投信解約損益	215	15	199
与信費用	84	△ 8	92
経常利益	205	27	177
当期純利益	142	30	112
自己資本比率	9.14%	0.55%	8.59%

当社における2021年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比64億円減少の1,759億円、連結経常利益は前期比5億円増加の322億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10億円増加の213億円となりました。

連結自己資本比率は9.45%となりました。

2行合算では、経常収益は前期比55億円減少の1,579億円となり、当期純利益は前期比16億円増加の224億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比21億円減少の864億円となり、当期純利益は前期比30億円増加の142億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比34億円減少の715億円となり、当期純利益は前期比13億円減少の81億円となりました。

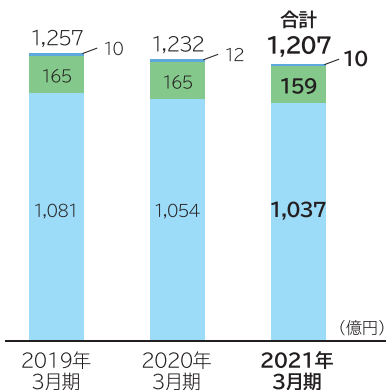
(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2021年 3月期	前 期 比	2020年 3月期
経常収益	715	△ 34	749
コア業務粗利益	540	△ 23	563
経費 (臨時処理分を除く)	384	△ 11	396
コア業務純益	156	△ 11	167
除く投信解約損益	161	14	146
与信費用	46	18	27
経常利益	115	△ 21	137
当期純利益	81	△ 13	95
自己資本比率	8.88%	0.12%	8.76%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **1,037億円**

有価証券利息配当金の減少により、前期比17億円減少しました。

役員取引等利益 **159億円**

保険販売手数料の減少により、前期比5億円減少しました。

その他 **10億円**

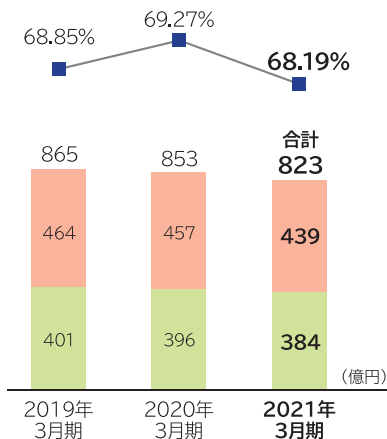
外国為替売買益の減少により、前期比1億円減少しました。

コア業務粗利益 **1,207億円**

上記の結果、前期比24億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR



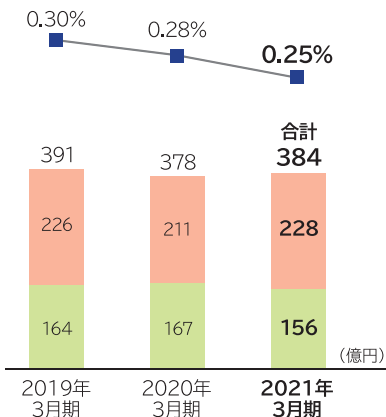
経費

823億円

業務効率化の取り組みを通じて、前期比30億円減少しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA



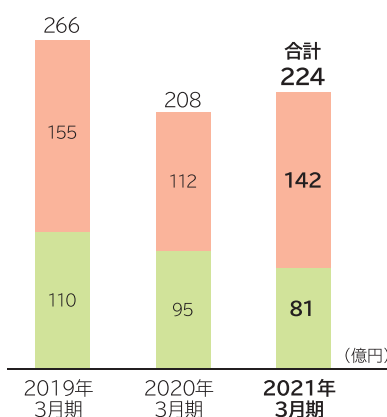
コア業務純益

384億円

経費の減少もあり、前期比5億円増加となりました。

■ 当期純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



当期純利益

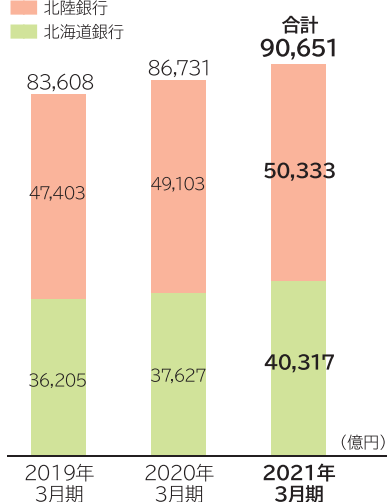
224億円

与信費用は増加しましたが、コア業務純益の増加から、前期比16億円増加しました。

貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

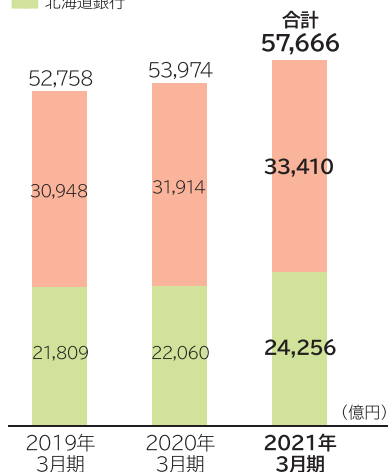


貸出金
9兆651億円

事業性、個人ローン、地方公共団体等向け貸出ともに増加し、前期末比3,920億円増加しました。

■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

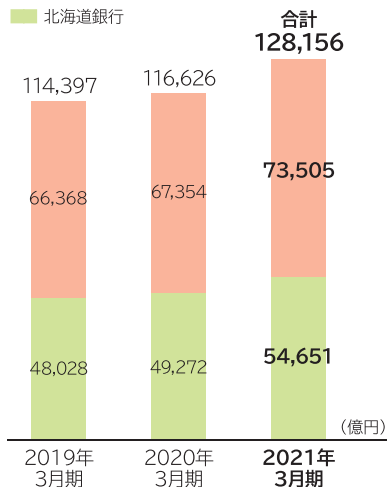


中小企業等貸出
5兆7,666億円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまに対する資金繰り支援に積極的に取り組んだ結果、前期末比3,692億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

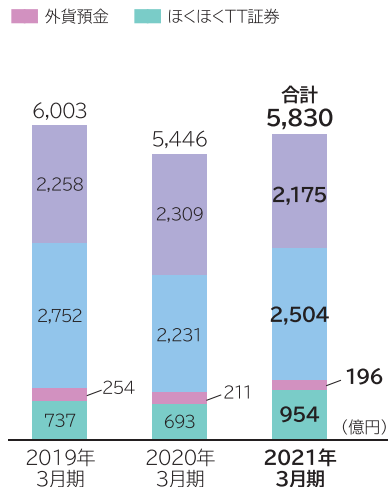


預金(含む譲渡性預金)
12兆8,156億円

個人預金・法人預金とも増加し、前期末比1兆1,529億円増加しました。

■ 個人向け投資型金融商品<グループ合計>

公共債
外貨預金
投資信託
ほくほくTT証券



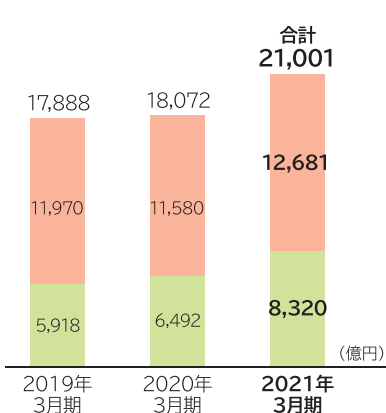
個人向け投資型金融商品
5,830億円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時的に不安定な状態にあったマーケットが落ち着きを取り戻したこともあり、個人向け投資型金融商品は前期末比384億円増加しました。

有価証券残高・健全性の指標

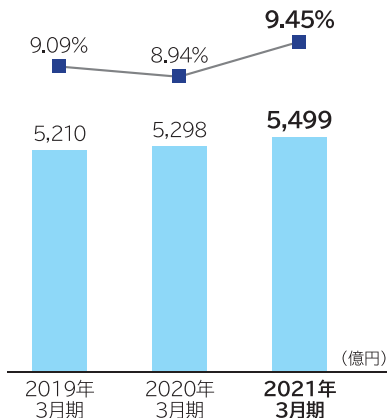
■ 有価証券残高<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



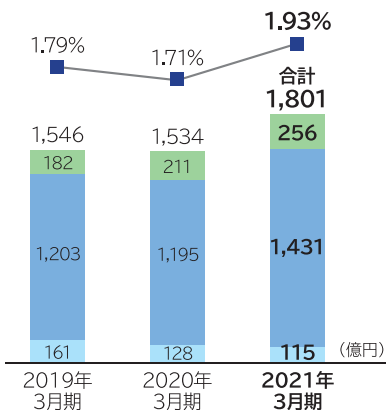
■ 自己資本比率<FG連結>

自己資本
自己資本比率



■ 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株
第1回第5種優先株式 85,955,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2021年6月25日現在)

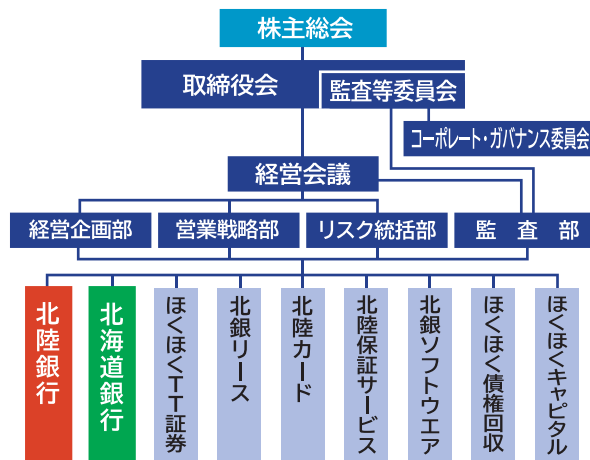
役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	坂井 章
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥
取締役	中澤 宏	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	小林 正彦		

- 従業員の数 専任者6名
- 設立日 2003年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。3名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図 (2021年6月25日現在)

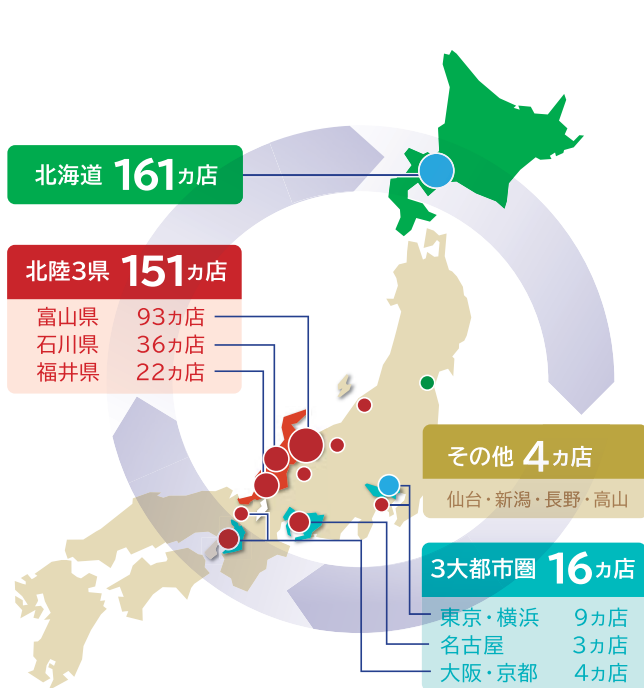


■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

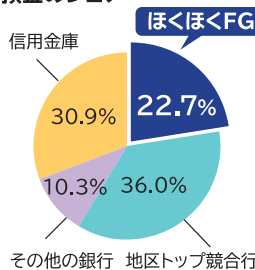
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

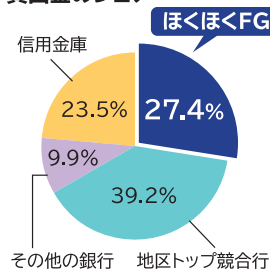


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

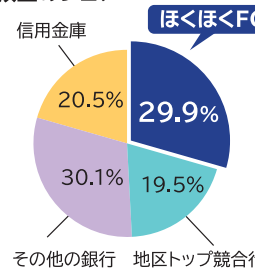


貸出金のシェア

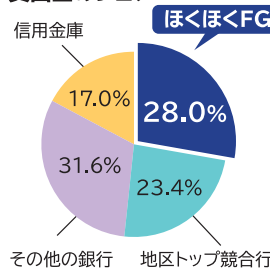


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2020年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

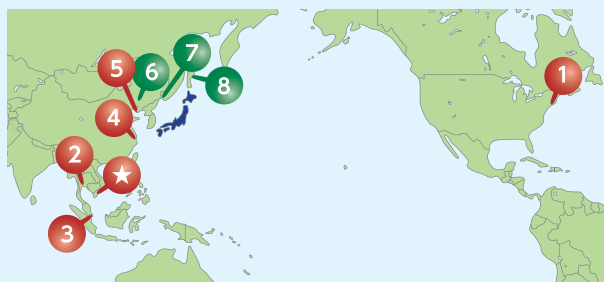
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② バンコク駐在員事務所
- ③ シンガポール駐在員事務所
- ④ 上海駐在員事務所
- ⑤ 大連駐在員事務所
- ⑥ 瀋陽駐在員事務所
- ⑦ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑧ ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ★ ホーチミン駐在員事務所 (2021年8月開設予定)

海外駐在員事務所 8 拠点

北陸銀行 5 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSRの基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。














2019年4月1日

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 庵 栄 伸

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現  <ul style="list-style-type: none"> ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する 
	<ul style="list-style-type: none"> ◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める 
	地域における金融リテラシーの向上  <ul style="list-style-type: none"> ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する 
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築  <ul style="list-style-type: none"> ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する 
	すべてのお客さまにとっての利便性の向上  <ul style="list-style-type: none"> ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める 
進取創造	生産性向上に繋がる職場づくり  <ul style="list-style-type: none"> ◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む 



北陸銀行 の取り組みをご紹介します!

北海道銀行 の取り組みをご紹介します!



特集：新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けられたお客さまへの支援に全力で取り組んでおります。また、ニューノーマル(ウィズコロナ・アフターコロナの社会情勢)に適応していくため、非対面型サービスの拡充や店頭・職場環境の整備を進めております。

お客さまへ

〈資金繰り支援〉

◆資本性劣後ローンによる協調融資を行う連携ユニットを創設
 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、一時的に財務状況が悪化する事業者が増加することが懸念されている中、日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と連携し、協調融資による資金繰り支援や、各機関から本業支援に関するソリューションの提供を行うことで、お客さまの経営改善をサポートしております。



◆相談窓口を設置

「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う融資相談窓口」等を設置し、各地域の信用保証協会、自治体が提供している融資制度の利用をサポートしております。また、SDGs私募債等、お客さまに適した資金繰り支援のご相談を受け付けております。

〈新型コロナウイルス関連融資状況〉
 (2020年2月～2021年3月末の累計)

件数	金額
21,106件	6,550億円

※2行合算

◆オンラインの活用

これまで対面で行っていた各種セミナーを、オンラインやオンデマンド形式で実施しております。引き続き地域社会における金融リテラシー向上に努めております。



2020年度オンラインセミナー実績

北陸銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●ほくりく長城会緊急オンラインセミナー ●投信オンラインセミナー ●経営者のための勤怠システム活用セミナー ●貿易保険入門&活用セミナー ●ほくぎんビジネス倶楽部経営セミナー
北海道銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●介護事業者、ヘルスケア事業者向けセミナー ●資産運用オンラインセミナー ●新型コロナ対策オンラインセミナー ●確定拠出年金オンライン投資教育セミナー ●電子請求書・電子契約書オンラインセミナー

地域社会へ

◆北海道医療従事者応援募金口座を開設・受付

新型コロナウイルス感染症の治療・感染拡大防止活動に従事する医療関係者の方を支援する募金口座を開設し受け付けております。(北海道銀行)

◆キャッシュレスの推進

紙幣や硬貨の使用機会を減らすことで、接触感染リスクを引き下げること、また、キャッシュレス決済は会計スピードが早く、会計待ちの行列を防ぎ、ソーシャルディスタンスの確保につなげるため、地域のコロナ感染予防対策として地域のキャッシュレス推進に努めております。

感染拡大防止に向けて

◆感染予防対策

お客さまに安心してご来店いただくため、飛沫防止シートの設置、ATMコーナーやロビーの消毒、ソーシャルディスタンスの確保などに取り組んでおります。



◆働き方改革

社会インフラとしての銀行業務を継続するため、時差出勤、テレワークを積極的に活用しております。

持続可能な地域社会の実現



ほくほく
FG

環境方針の制定および「TCFD」提言への賛同

2021年2月、「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」を制定・公表し、併せて気候変動に関わるリスク・機会の開示を推奨す

ほくほく
FG

環境省「ESG地域金融促進事業」への取り組み

2020年6月、北陸銀行と北海道銀行は、環境省が地域金融機関に対して、地域課題に関わる事業の掘り起こしやESG要素を考慮した金融機関の取り組みに関する支援を行う「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択されました。

両行の取り組み結果は、2021年3月に環境省の「ESG地域金融実践ガイド2.0」にて公表されるとともに、北陸銀行は2021年4月

北陸銀行

使用電力を再生可能エネルギーへ切り替え

北陸銀行は、富山県と北陸電力株式会社がCO₂排出量の削減に取り組む企業向けに創設した電気料金メニュー「とやま水の郷でんき」を2021年4月より導入いたしました。同メニューの契約企業としては、第一号となります。

富山県営水力発電所から産み出される電気を利用する「とやま水の郷でんき」の利用により、富山県の水力発電を守ることへの貢献

北海道銀行

食品ロス削減への貢献取り組み

2021年3月、北海道銀行は農業者が廃棄等していた規格外農産物を帯広市のおびひろ動物園に提供するマッチングに取り組みました。株式会社とかち河田ファームにおいて生産される馬鈴しよ・ニンジンのうち大きさや形状などが販売に適さないとされていた規格外農産物がおびひろ動物園に継続的に提供されます。

る「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」提言への賛同を表明しました。

方針の制定・公表および本提言への賛同を通じて、環境問題への対応と、気候変動がもたらすリスクと機会の分析、対応、情報開示を強化してまいります。

に開催された「第4回 ESG金融ハイレベル・パネル」において、個別金融機関の取り組み事例として発表を行いました。

気候変動課題への対応の重要性を踏まえ、地域企業が抱える課題の解決をサポートできる体制構築に取り組んでまいります。



に加え、再生可能エネルギーの導入およびエネルギーの地産地消を進め、CO₂排出量の削減につなげてまいります。



畑から生まれる廃棄農産物を減らし、地域の貴重な資源として有効活用されるとともに、動物園においては飼料費の低減につながります。



北海道銀行 省エネ賃貸住宅事業の展開をサポート

北海道銀行は、北海道ガス株式会社が新規事業として参入する省エネ賃貸住宅事業をサポートするため、2021年4月、賃貸仲介事業を展開する株式会社常口アトムとの3社による連携協定を締結しました。

戸建て住宅や分譲マンションに比べて省エネへの取り組み余地が大きい賃貸住宅に対して、パネルヒーターや省エネ型給湯暖房機などガス事業のノウハウを生かした設備を標準装備するとともに、入居者が専用アプリからエネルギー使用量などをリアルタイムで把握することで省エネに取り組む仕組みも導入するなど脱炭素化に

貢献する事業に対して、様々なネットワークを生かして運営をサポートいたします。



地域における金融リテラシーの向上



ほくほくFG 金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」のオンライン開催

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年「エコノミクス甲子園」を開催しています。第15回となる2020年度大会はコロナ禍に配慮し、初のオンラインでの開催となりました。

北陸銀行では、富山大会、福井大会の運営を、北海道銀行では、北海道大会の運営を行っており、引き続き若年層への金融経済教育に注力してまいります。



すべてのお客さまにとっての利便性の向上



北陸銀行 公式Twitterアカウントの開設

2021年2月、北陸銀行はお客さまとの新たな接点として、公式Twitterアカウントを開設いたしました。

本アカウントでは金融に関する情報、地域に関する情報等を配信しております。

従来の各種SNSサービスでの情報発信に加え、Twitterでの情報発信を通じて、更なる利便性向上と、一層親しみやすい銀行を目指してまいります。



ほくほく
FG

アプリ・ホームページのリニューアル

2021年5月、北陸銀行と北海道銀行はそれぞれ、スマートフォン向けアプリ「北陸銀行ポータルアプリ」「どうぎんアプリ」の機能拡張および画面デザインの変更を実施しました。また、北陸銀行は併せてホームページのデザインについても変更しております。

アプリについては、お客さまがよりわかりやすく、より使いやすくなるようにトップ画面等のデザインを変更(UI/UXの改善)したことに加え、振込・振替機能の追加、投資信託など残高・明細照会が可

能な科目の拡大など機能面も大きく拡充しています。

また、北陸銀行ホームページのトップページは、「ずっと飽きが来ないシンプルで機能的なデザイン」をコンセプトに、洗練されたデザインを追求することで、信頼感を与えるデザインとなっています。

お客さまに金融サービスをより便利に、安心してご利用いただけるよう、今後もアプリ等をはじめとする非対面サービスの向上に努めてまいります。



健全で強靱な経営基盤の構築

ほくほく
FG

次期共同利用システムに関する基本契約締結

北陸銀行と北海道銀行は、横浜銀行、東日本銀行、七十七銀行および株式会社NTTデータとの間で、次期共同利用システム(以下、「次期MEJAR」という)について、「オープン基盤」を採用することを合意し、2021年4月に基本契約の締結を行いました。

MEJARは、ITコストの低減などを目的に、2010年から稼働を開始した共同利用システムです。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの利活用などを行うシステム、ATM、インターネットバンキングなどについても5行で共同利用しています。

今回の基本契約では、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、様々なハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」の採用について合意しました。共同利用する基幹系システムのオープン化は銀行業界初の取り組みです。

オープン化により、将来的な機能の拡張性、最新技術の活用が可能になるとともに、運営コストの大幅な低減につながります。また、環境に配慮したグリーンITの導入により、消費電力量を現行比20%低減することで、CO₂排出量の削減効果も期待されます。今後もシステム共同化によるサービス向上を図るとともに、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

生産性向上に繋がる職場づくり

ほくほく
FG

多様な人材が活躍できる職場環境の整備

北陸銀行と北海道銀行は、経済産業省が創設した「健康経営優良法人2021大規模法人部門(ホワイト500)」の認定を受けました。両行とも4年連続の認定となります。

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している

認定された大規模法人部門の中でも、調査結果上位500社のみが認定されます。

今後も、多様な人材の活躍支援やワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的に取り組み、誰もが活躍できる職場環境を整備してまいります。



2021
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位：円)

2019年度	2020年度	2021年度 (予定)
40.0	35.0	35.0

普通株式配当につきましては、前期比5円減配の、期末一括配当1株当たり35円とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7331
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行
経営企画部広報CSRグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7111
<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行
経営企画部広報CSR室
〒060-8676
札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel: 011-233-1005
<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。